

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名：地域高規格道路 琵琶湖西縦貫道路 一般国道161号 湖北バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 近畿地方整備局			
起終点：自：滋賀県高島市マキノ町海津 至：滋賀県高島市今津町弘川	延長：10.8km				
事業概要： <p>一般国道161号は、福井県敦賀市から滋賀県大津市に至る主要幹線道路で、滋賀県湖西地域の産業・経済・生活を支える大動脈であるとともに、名神高速道路や一般国道8号と連携した広域ネットワークの形成を担う路線となっている。</p> <p>湖北バイパスは、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び冬期の円滑な交通の確保を目的に計画された道路である。</p>					
S48年度事業化	S51年度都市計画決定 (H-年度変更)	S48年度用地着手	S53年度工事着手		
全体事業費	300億円	事業進捗率	約68%	供用済延長	8.3km
計画交通量	17,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C：(事業全体) 1.5 (残事業) 2.9	総費用：(残事業)/(事業全体) 161/634億円 (事業費：71/544億円 維持管理費：90/90億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 463/930億円 (走行時間短縮便益：428/869億円 走行経費減少便益：24/40億円 交通事故減少便益：11/21億円)	基準年：平成25年	
感度分析の結果： <p>【事業全体】交通量：B/C=1.2~1.8（交通量±10%） 事業費：B/C=1.5~1.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.4~1.6（事業期間±20%）</p> <p>【残事業】交通量：B/C=2.4~3.5（交通量±10%） 事業費：B/C=2.8~3.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.8~2.9（事業期間±20%）</p>					
事業の効果等： <ol style="list-style-type: none"> ①交通安全の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀方面から湖北バイパス（4工区未整備区間）へは約6%の下り勾配となっており、その直後に急カーブ（R=90m、R=100m）が連続することから事故多発箇所となっている。マキノ駅前交差点も事故が多発しており、4工区の線形改良・交差点改良及び歩道整備により、交通安全の向上が期待できる。 ②冬期の円滑な交通確保 <ul style="list-style-type: none"> ・高島市は降雪量の多い地域であり、積雪地域に指定されており、積雪時には除雪作業等で渋滞が発生し、円滑な交通に支障をきたしているため、整備により円滑な交通確保が期待できる。 ③交通混雑の緩和 <ul style="list-style-type: none"> ・湖北バイパス5~7工区の暫定開通により、通過交通がバイパス部に転換し、旧一般国道161号の交通混雑が緩和された。また、高島市には多くの観光施設があり、観光入込客数も増加していることから、湖北バイパス4工区の整備により、行楽シーズンにおける交通混雑の緩和が期待できる。 ④重要港湾へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高島市~敦賀港への所要時間が短縮。（55分→54分） ⑤主要な観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線へのアクセス向上により観光客の増加が見込まれる（道の駅 藤樹の里あどかわ観光客入り込み数：79.2万人/年(H23)、マキノ高原観光客入り込み数：45.2万人/年(H23)） ⑥高度医療施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・高島市~長浜市赤十字病院への所要時間が短縮。（65分→64分） ⑦沿道環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・国道161号 高島マキノ町海津（騒音レベル：昼間75db、夜間75db 改善見込み） 					
関係する地方公共団体等の意見： <p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道161号改良整備促進期成同盟会（S42.12設立、大津市長・高島市長、大津市議会議員、高島市議会議員より構成）から早期整備の提言を受けている。 滋賀県知事の意見：					

<p>一般国道161号湖北バイパスについては、対応方針（原案）で【事業継続】とされているとおり、事業効果の早期発現に向けてさらなる整備促進をお願いしたい。</p> <p>地元も交通混雑、交通事故等の課題解消のため、当該事業の早期完成を強く望んでおります。</p> <p>なお、事業推進にあたっては、進捗のための十分な予算の確保、並びに徹底したコスト縮減に取り組んでいただきたい。</p>	
事業評価監視委員会の意見	<p>審議の結果、「国道161号湖北バイパス」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。</p>
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>一般国道161号の高島市マキノ町海津地区（4工区）では、並行する道路が無く、大型車混入率も3~4割と高い状況で推移している。また、滋賀県及び高島市の自動車保有台数は増加傾向（近年は横ばい）にある。</p>
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在までに8.3km（暫定2車線）開通済み、用地進捗率：約88%、事業進捗率：約68%。</p> <p>残る区間について、湖北バイパス4工区2.5kmの用地取得及び設計を推進中。</p>
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。</p>
施設の構造や工法の変更等	<p>事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。</p>
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>

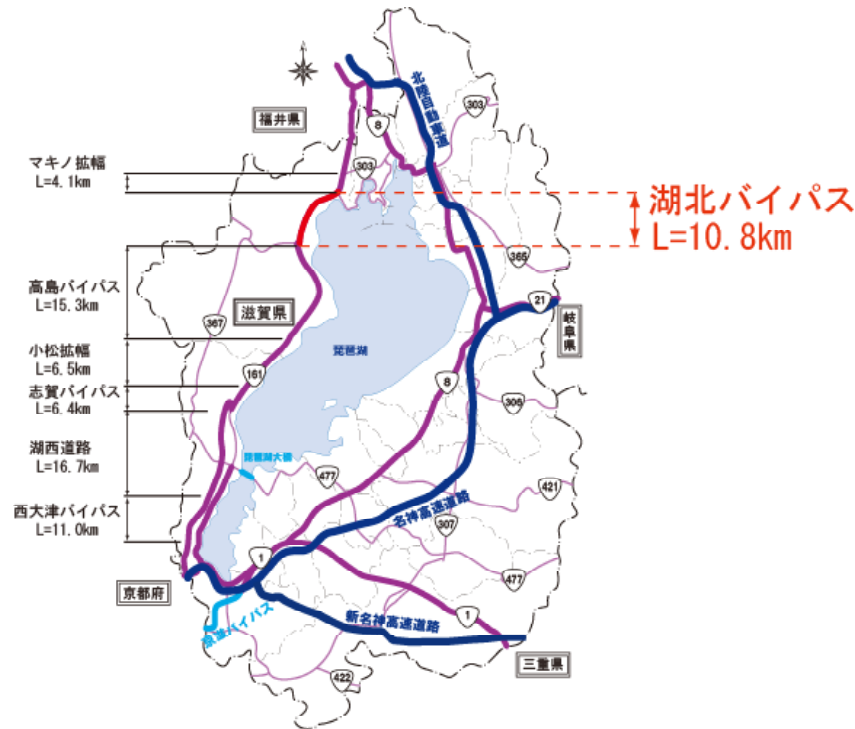
再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 琵琶湖西縦貫道路 一般国道161号 湖北バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：滋賀県高島市マキノ町海津 至：滋賀県高島市今津町弘川	延長 10.8km	

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

